

1. 学部

1.1. 平成 18 年度の取り組みの概要

「2004 年度発達科学部年次報告書」の冒頭の「『第 2 バージョン発達科学部』に向けての取り組み」に記載しているように平成 16 年度と平成 17 年度は法人化を迎えて、「第 2 バージョン発達科学部」の基盤を形成するために教育システム、入試制度、管理・運営システム、施設整備など多方面の分野で改革を実行した年である。

平成 18 年度も、この改革を引き続いて具体化し、定着させていくことが課題であった。この具体化の状況については各項目で具体的に述べることとして、ここでは特に重要な項目について列挙しておく。

高校生に学部の実態を理解してもらうために平成 18 年 8 月 1 日と 8 月 8 日の 2 日間実施したオープンキャンパスでは、1,850 名と全学部で一番多い参加者であった。

発達科学シンポジウム「即興・表現・生」を開催（平成 18 年 8 月 18 日）約 200 名参加。

第 1 回神戸大学ホームカミングデイを開催（平成 18 年 9 月 30 日）。

ヒューマン・コミュニティ創成研究センターの出版プロジェクト第一弾「人間像の発明(ドメス出版)」(平成 18 年 10 月 31 日)を刊行。

NPO などを通じて地域で環境活動に取り組む市民や自治体関係者と大学の学生、研究者などの交流を目的として企画された「市民と大学の環境フォーラム」を開催（平成 18 年 11 月 26 日）120 名参加。

神戸大学の平成 18 年度教育研究活性化支援経費による「戦略的・独創的な教育研究プロジェクト事業」の一つとして採択された「理系 A0 入試を通じた高校と大学の接続」をテーマにしたワークショップを開催（平成 19 年 3 月 17 日～18 日）。

同様に、神戸大学の平成 18 年度教育研究活性化支援経費による「戦略的・独創的な教育研究プロジェクト事業」の一つとして採択された「文理融合の授業開発 - 総合大学の特性を生かし、附属校を活用した特色ある大学教育と教員養成の試行」をテーマにしたワークショップを開催（平成 19 年 3 月 10 日～11 日）。

文部科学省「女子中高生理系進路選択支援事業」の一環として、「女子高校生春の学校」と題したジュニア科学塾を発達科学部キャンパスで開催（平成 19 年 3 月 21 日）。本学部が後援。

昨年度開設されたヒューマン・コミュニティ創成研究センターの事業の一環として、「市民の科学と大学支援」プロジェクトを立ち上げ、サイエンス・カフェを 16 回開催した。また、子育て支援を契機にした共生のまちづくりを目的にした施設のびやかスペースあーちでは、あーち通信 12 回発行した。

昨年度に続き、教員の社会貢献レポートを Web に掲載し、それをまとめて「社会貢献レポート第 2 集」を刊行。

（発達科学部長 青木 務）